

2025 年 8 月 21 日

各 位

住所	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
会社名	GMO インターネットグループ株式会社
代表者	代表取締役グループ代表 会長兼社長執行役員・CEO 熊谷 正寿 (コード番号 9449 東証プライム)
問い合わせ先	取締役 グループ副社長執行役員・CFO グループ代表補佐 グループ管理部門統括 安田 昌史
TEL	03-5456-2555 (代)
URL	https://group.gmo

連結子会社(GMO コマース株式会社)の上場承認に関するお知らせ

本日、株式会社東京証券取引所より当社の連結子会社である GMO コマース株式会社(以下、GMO コマース)の東京証券取引所グロース市場への新規上場が承認されましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、東京証券取引所グロース市場への上場日は 2025 年 9 月 25 日(木)を予定しており、同日以降は、同取引所において GMO コマース株式の売買が可能となります。

記

1. GMO コマースの上場について

(1) 当社グループにおける GMO コマースの位置づけ

当社グループは、「すべての人にインターネット」をコーポレートキャッチに掲げ、1995 年のインターネット接続(プロバイダー)サービスの提供を皮切りにインターネット事業を開始し、現在ではインターネットインフラ事業を中心として、インターネットセキュリティ事業、インターネット広告・メディア事業、インターネット金融事業および暗号資産事業を展開する総合インターネット企業グループとなっています。

GMO コマースは、「すべてのお店の「マーケティングプラットフォーム」に」という経営理念のもと、当社グループのインターネットインフラ事業の EC 支援事業に属し、リアル店舗の CX 向上および DX 推進を支援するマーケティングプラットフォームの開発、提供を行っています。主にリアル店舗向けに事業展開を行う各社との相互送客などを通じたグループシナジーの創出により、グループ全体の成長加速を図っています。また、EC 支援事業に属しているグループ会社は他に GMO ペパボ株式会社、GMO メイクショップ株式会社、GMO OMAKASE 株式会社等が存在しておりますが、リアル店舗を対象とした SNS を活用した CX 向上および DX 推進を主な事業とする会社は GMO コマースのみであり、グループ内で直接的な競合は発生しておりません。

(2) 上場の目的

GMO コマースが行う店舗向けの販促に関連する DX および CX ソリューション市場は、店舗事業者の DX の進展に伴い、マス広告からパーソナライズ販促への移行ニーズが高まる中、市場機会が継続的に拡大しております。GMO コマース

スは、2012 年の設立以来、店舗 SNS 販促の黎明期からサービス提供を行い、小売、飲食、アパレル等の幅広い業界において実績を積み重ね、この成長市場における有力企業としての地位を確立しております。

今後、GMO コマースは株式上場を通じて、経営理念である「すべてのお店の「マーケティングプラットフォーム」に」の実現に向け、AI 技術を活用したプロダクト開発の推進と営業・サポート体制の強化を通じた顧客基盤の拡大を進めてまいります。これにより、あらゆる店舗事業者の皆様の事業成長に貢献するサービス開発、提供体制をより一層強固なものとし、中長期にわたる持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。その結果として、当社グループの企業価値向上にもつながるものと考えております。

(3) GMO コマースの株式保有方針

当社のグループ会社に対する出資は、直接または間接的に株式の過半数を保有することを原則とし、支配権をもつ出資比率の獲得を可能な限り目指すこととしております。GMO コマースについても、この基本方針に基づき、上場後も連結子会社としての位置づけを維持する方針です。

店舗向け CX 向上ソリューション事業は、当社グループのマーケティング関連事業との間で顧客紹介や技術連携等のシナジー効果が期待され、グループシナジーを追求しながら事業推進していくことが、GMO コマースおよび当社グループ全体の企業価値向上に資するものと考えております。

当社は、GMO コマースの独立性を尊重し、より自律的な経営を行うことを支持してまいります。また、本上場を通じてステークホルダーとの直接的な対話の充実により、同社の企業価値向上を実現していくことを期待しております。

2. 連結子会社の状況

(1) 名称	GMO コマース株式会社
(2) 代表者	代表取締役社長 山名 正人
(3) 所在地	東京都渋谷区道玄坂一丁目 2 番 3 号
(4) 設立年月日	2012 年 11 月
(5) 資本金	1 億円(2025 年 8 月 21 日現在)
(6) 事業内容	店舗の CX 向上および DX 推進を支援するマーケティングプラットフォーム等の開発、提供

3. 上場に伴う GMO コマース株式の募集・売出しの概要

- | | |
|-------------------------|----------------|
| (1) 公募による募集株式の発行 | 1,568,400 株 |
| (2) オーバーアロットメントによる株式売出し | 235,200 株 (上限) |

4. 当社の所有株式数および所有割合

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| (1) 現在の所有株式数 | 3,596,400 株 |
| (所有割合:100.0%、発行済株式数 3,596,400 株) | |
| (2) 上場に伴う新株発行後の所有株式数 | 3,596,400 株 |
| (所有割合:69.6%、予定発行済株式数 5,164,800 株) | |

※所有割合が変動しておりますが、上場に伴う新株発行が行われた場合、希薄化が生じるためです。

※予定発行済株式数には、オーバーアロットメントによる株式売出し(上限 235,200 株)は含まれておりません。

5. 当社における子会社上場の方針

当社グループは、変化の速いインターネット市場において勝ち続けるため、「権限の分散」と「グループシナジーの極大化」をグループ経営の基本方針としております。この方針のもと、アントレプレナーの集合体である当社グループは、「GMO」というグループ統一ブランドを最大限に活かしつつ、各社の経営自律性を保ちながら、GMO イズムを中心とした共通の価値基盤の共有・徹底を基盤としたグループ間の強固な結びつきによって事業シナジーを創出し、優れたアイデアを持つ企業の成長を支援するプラットフォームとして機能することを目指しております。

このようなグループ経営の基本的な考え方のもと、当社グループでは、グループ会社上場を重要な成長戦略の一つと位置付けております。当社グループの上場戦略には複数のアプローチがあり、スタートアップ企業が大企業グループの経営資源を活用して成長を加速し、その後上場を目指す「スイングバイ IPO」と呼ばれる成長モデルの実践もその一つです。当社グループは2005年のGMO ペイメントゲートウェイ株式会社のマザーズ上場をはじめ、これまでに複数の上場を実現してまいりました。また、グループ内で事業を育成し上場に導く内部育成型の上場も推進しており、今回のGMO コマースもその一例であります。上場を通じた知名度と社会的信用力の向上、優秀な人材の確保、株式市場との継続的な対話を通じた経営力強化により、各社が No.1 サービスの提供を実現し、お客様の満足度向上と利益創出を通じたグループ企業価値の向上、ひいては少数株主に対する適切な利益還元を行うことを目指しております。

グループ各社の上場および市場区分の変更については、上記の基本方針に基づき、各社の意思決定に委ねております。今回のGMO コマースにおける上場の意思決定についても同様の考え方によるものであります。

なお、現時点において、GMO コマース以外のグループ会社上場について決定された事項はありません。

6. 今後の見通し

本上場後も、GMO コマースは引き続き当社の連結子会社であるため、本件による連結業績に与える影響は軽微となります。

以 上

ご注意：当文書は、一般に公表することのみを目的とする記者発表文であり、日本国内外を問わず投資勧誘などを目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず GMO コマース株式会社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書(並びに訂正事項分)」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。